

3M™ バーサフロー™ 電動ファンTR-302J+ 使用方法

表示パネル | 最後のボタン操作から30秒後に“スリープモード”へ切り替わり、風量表示のみ点滅表示。
ボタン操作を行うと“スリープモード”は解除。

1 ON/OFF

- 電源ボタンを2秒間押し続けると起動
バッテリー残量表示
ろ過材目詰まり状態表示
- 電源ボタンを2秒間押し続けると停止

2 風量切替

- 電源ボタンを2回押しして風量を切り替え
1つ点灯：標準風量
2つ点灯：高風量



高風量時イメージ

3 バッテリー残量表示

- バッテリー残量が10%未満になると一番下のバーが点滅
- 電圧低下警告音が鳴る



4 ろ過材の目詰まり

- 風量が設計値より少なくなると、最下部のLEDが赤色で点滅
- 警告音が鳴る



1 使用前点検

電動ファンに損傷がないか確認します。
ろ過材がきちんと装着されているか確認します。

電源ボタンを押して電動ファンを起動させ、異常がないか確認します。



反対側も確認

- 異音や振動が認められた電動ファンはご使用にならないでください。

2 風量チェック

電動ファンを起動させたまま、電動ファンの空気出口に風量計を差し込みます。

風量計が垂直になるように電動ファンを傾け、目の高さでボールが最低風量のマークより上にあることを確認します。



- 風量が十分に出ていない電動ファンはご使用にならないでください。

3 警報チェック

電動ファンを動かした状態で空気出口を手のひらで塞ぎ、その状態で少し待ちます。
警報が鳴り、赤色 LED が点滅することを確認します。



確認後に手を離し、少しして警報が止み、赤色 LED が点滅しなくなることを確認します。

4 連結管の接続

連結管の突起を電動ファンの溝に合わせ、まっすぐに押し込んだ後、時計回りにひねると固定されます。



5 装着する

作業中にぐらつかないようにしっかりと電動ファンを装着します。

ベルトは腰に密着させる



バックパックは背中に密着させる



- 使用中に警報が鳴ったら直ちに安全な場所に退避してください。

クリーニング

電動ファンは、中性洗剤をしみ込ませた布で汚れをふき取ります。

- 溶剤や研磨粒子入りのクリーナーなどは使用しないでください。
- ろ過材を叩いたり、圧縮空気を吹き付けたりしてクリーニングをしないでください。ろ過材が損傷して、呼吸が守れなくなります。

プレフィルターはこまめに交換してください。

3M、バーサフローは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
安全衛生製品事業部
<http://go.3M.com/psd>

Please Recycle. Printed in Japan. ©3M 2019. All Rights Reserved.

充電

バッテリーの青ボタンを押しながら本体から外し、充電器に取り付けます。



- 爪を引っ掛けて
- カチッと音がするまで押し込む



表示（上から）
橙点灯：充電中
橙点灯、緑点滅：90% 充電済み
緑点灯：充電完了
両方点灯：異常

- 充電は 0°C ~ 40°C の範囲で行ってください。この温度以外では充電できません。

バッテリー取付

バッテリーは以下のように取り付けてください。無理に押し込むと本体側の端子が破損します。



- 爪を引っ掛けて
- カチッと音がし、青いボタンが元の位置に戻るまで押し込む



バッテリーを軽く引っ張って、きちんと固定されていることを確認します。

フィルター交換（ろ過材、プレフィルター）

側面の青ボタンを押しながらろ過材、プレフィルターをフィルターカバーごと外し、交換します。



- フィルターカバーを下向きにしてろ過材を取り外すと、電動ファン内部へ異物が入り込む可能性を抑えることができます。

カスタマーコールセンター

0570-011-321

8:45~17:15 / 月~金（土日祝年末年始は除く）
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます